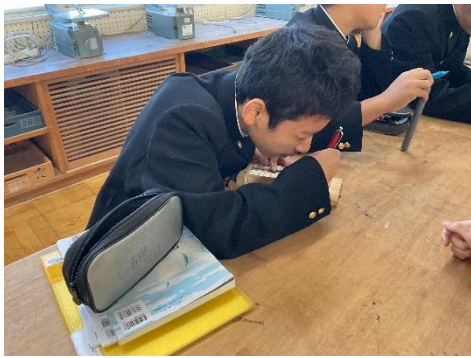


音楽×技術 7年生「雅楽の授業」



塩ビ素材のパイプに、穴をあける部分のけがきをする



位置を確認しながら、ドリルを使って穴をあける



音の鳴らし方を確認する



講師の先生から楽器の吹き方を習う

7年生は、日本の伝統音楽である「雅楽」の学習を行っています。

10月29日には、箏箏か竜笛のそれぞれの楽器を一人一つずつ作りました。「しっかり材料を持っていないと、ドリルがずれて、まっすぐに穴をあけられないな」「けがきがずれてたから、穴をあけたときに、もっとずれが大きくなっちゃった」など、ドリルの扱いに苦労しながらも、全員が作り上げることができました。

11月4日には、その楽器を使って、講師の先生から雅楽の曲の練習や楽器の吹き方について教わりました。「箏箏と竜笛、どちらの方が音を鳴らしやすいんだろう?」「穴の間隔が均等じゃないのは、音程に関係あるのかな」「息が全然続かない!なんで先生はあんなに音を伸ばせるんだろう」など、自分で楽器を作って演奏することで、楽器の作りや音の不思議に着目している姿が見られました。

12月18日の音楽集会では、7年生全員で「越天楽」を演奏するので、これから、自分の楽器を使って練習していきます。